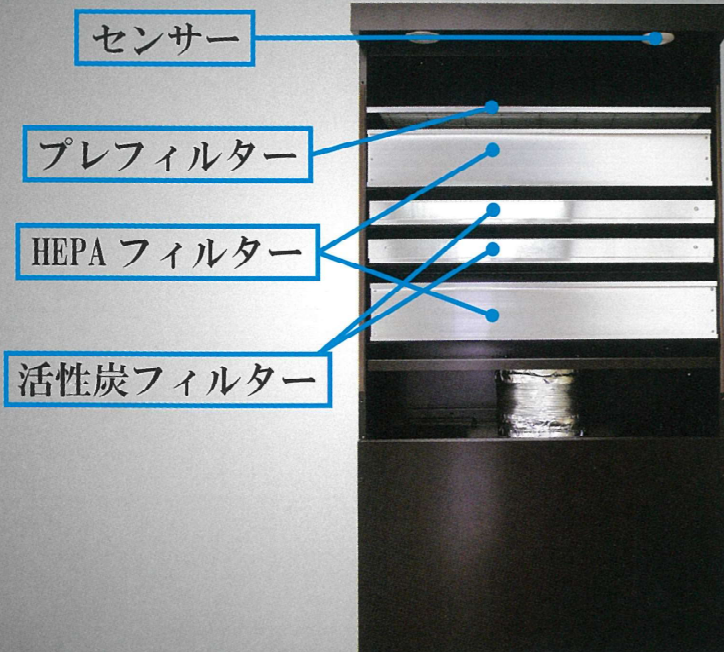


特徴

一酸化炭素も基準値以下にする5層フィルターシステム

クリーンユニット構造



吸気口



- タバコの煙を吸気口から吸い込み、各種大型フィルターを通り、短時間で有害物質や悪臭を吸着させ、綺麗な空気を上部から排気します。
- 厚生労働省が定義する受動喫煙防止法の一酸化炭素 / 浮遊粉塵を基準値以下にし、タバコの悪臭3大要素 (酢酸 / アンモニア / アセトアルデヒド) をガス検知管の測定限界未満にしました。
- タバコの臭い成分もほぼ 100% 除去しました。
※フィルターはガス類を分解する能力はなく、吸着させ排出しないための物です。
- 屋外排気金具標準装備

自動感知制御機能

- 人感センサーで喫煙者を検出して強モードで運転します。検知が無く5分経過すると弱モードに切り替わり、1時間検知がないと完全停止 (エコモード) になります。再度、喫煙者の検知があると強モードから再起動します。

選べるデザイン

- 強化ガラスのフィルムの柄をお選び頂けます。グラデーションまたは、柄なしも可能です。



標準品 変更例① 変更例②

フィルター交換

フィルター交換契約	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス
基本点検 / 年	4枚	6枚	12枚	18枚
プレフィルター交換 / 年	4枚	6枚	12枚	18枚
HEPA フィルター交換 / 年	1枚	1枚	2枚	3枚
活性炭フィルター交換 / 年	1枚	2枚	4枚	6枚

※フィルター交換のタイミングは設置環境及び臭気に対する判断で異なります。(本数での換算は、設置環境及びタバコの種類によって臭気度が異なるため記載しておりません。)
※HEPA フィルターと活性炭フィルターの交換の際は、下段のフィルターを繰り上げて使用し、下に新品のフィルターを差し込みます。

測定結果

一酸化炭素 / 浮遊粉塵の測定結果

- 厚生労働省の受動喫煙防止法で定めている基準値を元に測定

対象種別	基準値	クリーンユニット (SBU950F) 性能
一酸化炭素	10ppm 以下	1ppm 未満
浮遊粉塵	0.15mg / m ³ 以下	最大 0.0554mg / m ³ (動作時ルーム内)

一酸化炭素 (ガス検知管): 当社にてサンプリングしたガスを、地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センターにて測定 (依頼試験報告書 受付番号 平成29年度02-03272号)

浮遊粉塵: 当社で厚生労働省貸出機材のデジタル浮遊粉塵計にて測定

- タバコの悪臭3大要素 アンモニア / 酢酸 / アセトアルデヒドを測定

測定箇所	アンモニアガス	酢酸ガス	アセトアルデヒドガス
喫煙ルーム内ガス	45ppm	4ppm	8ppm
喫煙ルーム排気ガス	0.5ppmm 未満	0.125ppm 未満	1ppm 未満

喫煙ルーム内ガス: 機械を停止し、タバコ5本を燃焼させた状態のルーム内ガスをガス検知管にて測定
喫煙ルーム排気ガス: 機械を稼働し、タバコ5本を燃焼させた状態の排気ガスをガス検知管にて測定
地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター 簡易受託研究報告書による 受付番号 平成29年度20-00291号

臭気測定結果

- 当社のクリーンユニットは各種大型フィルターで臭い成分を99.94% 取り除きます。※残臭は自然に薄まります。設置空間が狭いと感ずる場合があります。
- 環境省の悪臭防止法で定めている「臭気強度」を測定。なお、定められている「臭気指数」については株式会社津製作所製におい識別装置を用い、「臭気指数相当値」として測定。

臭気強度目安表

臭気強度	0	1	2	3	4	5
臭いの程度	無臭	やつと感知できる臭い	弱い臭い	何の臭いかわかる	楽に感知できる臭い	強い臭い
			● 当社、喫煙ルーム排気ガス 臭気 (2)			

喫煙ルーム内ガス: 機械を停止し、タバコ5本を燃焼させた状態のルーム内ガス
喫煙ルーム排気ガス: 機械を稼働し、タバコ5本を燃焼させた状態の排気ガス
臭気指数相当値測定: 地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター 簡易受託研究報告書による 受付番号 平成29年度20-00291号
臭気強度測定: 当社、モニターによる測定

臭気指数目安表

